

新入部員募集 開成6組野球部 傷害保険加入交渉中
 TEL03-3838-4788木村まで 委細面談 秘厳守 敷金3礼金1
 練習屋年1回程度、夜多数 写真履歴書不要 駐Sなしベツト相談
 齒ごたえのある対戦相手求む 女子歓迎住込可 子息開成入學に有利



孤高 6組 連合軍を撃破

石垣 3 回完封 5 奪三振

先発全員17安打の猛攻

木舗 3 打点 石垣 2 発 佐藤 4-3

中に引導、市川を仕置き

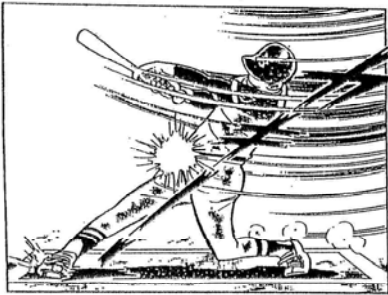
10月19日 観衆5万 主審佐藤

試合開始 13時20分 開成球場

勝利投手 篠田1勝

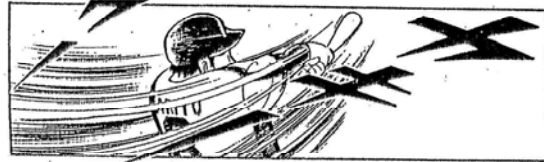
敗戦投手 中 1敗

6組	1	3	2	1	0	3	4	4
連合軍	0	0	0	4	0	0	0	4
	0	0	0	4	0	0	0	4
	0	0	0	4	0	0	0	4



左中間三塁打を放った石垣

石垣、中、両投手の先発で開始された怨念の遺恨試合は、初回先頭打者石垣の名刺代わりの左中間三塁打で幕は切つて落とされた。高水三塁フライで一死後、佐藤の三塁ゴロで飛出した石垣が本封され二死後、四番木舗の右中間を深々と破る三塁打で6組が先制。更に二回は川添三振で一死後、中島の三塁ゴロを齊藤が一塁に悪投する間に三進、横山の内野安打で三塁に進み、神原の中前打で中島が還り2点目。石垣三振で二死後高水の右中間三塁打で横山、神原が長駆本塁を陥れ、この一回一挙3点。更に3回川添の中前打を足場に



3 打点を挙げた四番木舗

齊藤の再度の一塁悪投の間に三三塁と先発中を攻め立て、横山神原の連打で6対0と連合軍を大きく引離し、中をマウンドから引きずり下ろした。この間先発の左腕石垣は右打者の内角をえぐるカーブと外角へのシュートで連合軍を翻弄、2回の3者連続を含め、計5三振を奪い3回を完封、リリーフ篠田にマウ



2 安打 2 打点の神原

ンドを譲った。大重点をバツクに登板した篠田は振れ込みの速球は陰を潜め、MAX100キロがせいぜい以下の軟投に終始、4回は齊藤以下、富田、荒井、日野間に4連打を浴び4点を献上、試合は俄然活気を帯び、篠田の調子から見て連合軍の反撃が大いに期待された。しかし元氣者の齊藤が二塁に走り込んだ際に痛めた足首のためあえなく退場、この辺から連合軍のベンチには暗雲がたれ込め始めた。6組は4回、二番手市川から三番佐藤がいきなりライト前ヒットを放ち、暴投と盗塁で三進、篠田打横井が三振に倒れた後、篠田の三塁線を破るヒットで生還

[6組]	打	安	点	四	三
1(投)一石垣	4	2	2	1	1
2(遊)高水	5	1	2	0	1
3(捕)佐藤	4	3	0	1	0
4(三)木舗	3	2	3	0	0
右 横井	2	0	0	0	2
打右檜垣	1	1	1	0	0
5(一)投篠田	4	2	1	1	0
6(右)川添	2	1	0	0	2
右 吉井	1	0	0	2	1
7(左)三中島	4	1	1	0	0
8(中)横山	4	2	2	0	0
打 松浦	1	0	0	0	1
9(二)神原	5	2	2	0	1

40 17 14 5 8

[連合軍]	打	安	点	四	三
1(右)渡辺(2)	3	0	0	1	1
2(中)川瀬(3)	4	0	0	0	3
3(左)小林(5)	4	1	0	0	1
4(遊)三投					
西宮(4)	4	0	0	0	1
5(三)齊藤(2)	2	1	0	0	1
投三市川(3)	2	0	0	0	0
6(二)遊					
富田(2)	3	1	1	0	1
打 沢田(5)	1	0	0	0	1
7(一)荒井(2)	3	2	2	0	1
8(捕)					
日野間(2)	2	1	0	1	0
9(投)左三					
中(4)	3	2	0	0	0

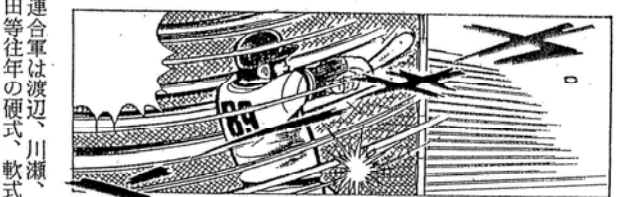
31 8 3 2 10

三塁打：石垣2、木舗、高水、篠田
 二塁打：齊藤、佐藤
 犠打：横山 暴投：市川
 盗塁：佐藤2、篠田2
 失策：吉井、中島、横山、神原、齊藤2



3 安打の佐藤

更に6回遂に登板した3番手西宮から篠田がライトのフェンスに達する三塁打を放ち、吉井が四球を選び、三塁の後、中島のレフト前ヒットで篠田が生還横山センターフライ、神原三振で二死後、石垣がこの試合2本目の三塁打を左中間に放ち吉井中島を迎え入れこの回3点。6点差とし勝利を決定つけた。なおも手をゆるめぬ6組は7回にも佐藤がセンターオーバーの二塁打を放ち、満を持して登場した代打の切札檜垣が右へきつちり通時打を放ち、篠田四球、吉井死球で無死満塁と詰め寄り代打で再登場した木舗の三塁強襲のヒット間に更に二者が生還、代打松浦が三振の後、横山のレフト犠牲フライにより吉井6組は都合7安打、大量14点を挙げ連合軍に圧勝した。

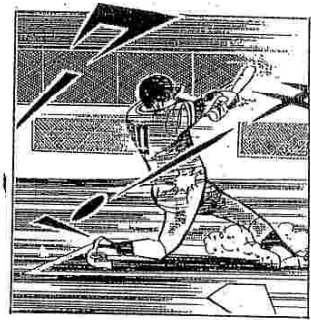


代打で右前に通時打を放った檜垣

連合軍は渡辺、川瀬、西宮、富田等往年の硬式、軟式の野球部員を各組から集め、35年におよぶ積年の恨みを晴さんとしたが、結果的には棒倒しの再現とも言える惨敗を喫し、再び少なくなるとも言う10年は6組の放言に唇を咬んで耐えねばならぬこととなった。連合軍内部ではオフに向けて早くも犯人捜しが始められており、優勝請負人として監督に招いた市川氏の采配振りに対し選手の中から批判が出始めており、首脳部としては引責退任を求めたいところだが、観客動員という面で非常な力を持つている市川氏を10年振りに招聘した手前、氏に傷つける訳にはゆかず、結局は、例年通り、中、西宮等のコーチ陣の首切りによりお茶を濁すことになろう。

市川監督引責辞任か

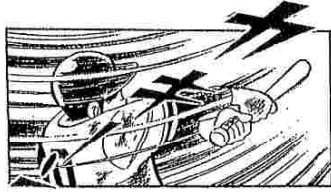
落ちた偶像元エース西宮 奮闘斎藤無念の負傷退場



左前打を放った川添

市川、沢田号泣

日野間夫妻、カラオケでは6組に完勝
二大会となったカラオケ会場では日野間夫妻がプロ顔負けの歌い振りで完全に6組を圧倒。6組は東北にルーツを持つ民謡のエース佐藤を送ったが、佐藤は選曲を誤りいまいち力を発揮できず2対1の劣勢を挽回するに至らなかった。やはり江差道分はアレンジ物ではなく正調を選ばべきであったろう。



高水右中間に三塁打

連合軍のメンバー市川、沢田両選手は敗戦にも拘らず6組と合同の2次会に出席、和気藹々と酒を酌み交わし、カラオケに興じていたが、会話が途絶えたとこで到頭耐えられなくなり、突然テールに突っ伏して号泣した。彼等にとって35年前の屈辱は今も拭い去ることが出来ず、心を支配していることが露呈し、その場に居合せた者達は、言葉を失い、慰めの一言を掛けることも出来なかった。

メンバー感涙

藤井尊師おしどり観戦

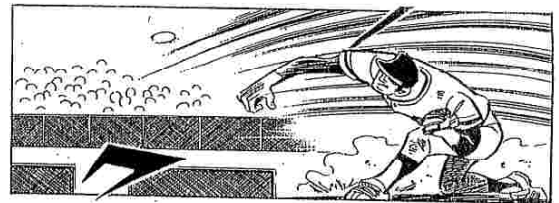
棒倒しの遺憾試合と銘打って仕掛けた今回の対抗戦は、前売券を50枚以上ばらまき、再三にわたるアジビラ、紙爆弾、深夜の電話攻勢により、メンバーはもとより、留守を預かる家族までもがその気になり、冗談の積りか当日は多数の観客が詰めかけ異常な盛り上がりを見せた。ここに観客の横顔を紹介しよう。

ヤがまた凄いな。兎角世のしがらみに流され勝ちな我々に、人間はどう生きるべきか、少年の心を何故失ってはいけないかをせよとせよと説く。しかし彼女は、まさしく不機嫌である。それは御自宅に至る手前の大通りの角にある酒家かできたことである。夫君が足繁く通い、美人の若主人に懸想しているという噂が理由ではない。教子子達がくいのちで会合を済ませ、我が家まで足を伸ばさなくなり、御自分の料理を披露する機会が少なかつたことが彼女の不機嫌の理由である。

粋な方が母、というのがもっぱらの評判である。一般に尊師が懸想しているのは娘の方と思われ勝ちだが実は母の方らしい。しかもこの事実について母は十分に承知している。さあ、次回は尊師に対する母の振舞いに注意してウオッチングして見よう。

高校でテアリーダーをしていた関係で高いレベルの野球を見慣れている。心優しいために父の草野球を見に来たが、これ程ひどいとは思わなかった。今度の父の誕生日にはゲートボールの用具をプレゼントすることを決意した。

後藤サブマネージャー... 鋭い観察力で選手のはんのわずかな特長を長所として祭あげ術は芸能担当記者として素質十分。今後は、火種のないところに作意的に情報操作し如何に記事を作り上げられるかが課題。



なんとかかわした救援篠田



2三振の横井

あきれ顔の

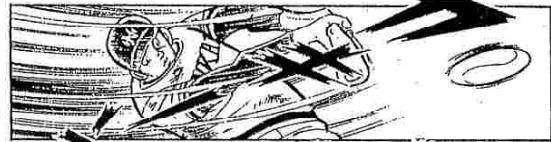
銃後の妻5人衆

木鋪、木村、佐藤、横井、篠田各選手の奥さんが観戦に駆けつけた。共通した感想は「男ってどうしていつまでこんな子供でいられるんだらう」だった。木鋪選手は奥方の他、長男タカユキ、「真ちゃんかめ」のママ、次男の勤太郎も観戦、木村マネは娘さんも観戦したらしいが、父の所在を確認して早々に母娘は引上げたため真偽の程は未確認である。

篠田監督談... 木村は参加するのは今日が初めてなのに、かみさんに何で言っただらう。そう言えば、長瀬に行っていることになっておいて呉れ、とか何か変な電話を掛けてきたなあ。ふーん、そういうことか。

今後の展望

連合軍は各組から硬軟式野球部員を集め6組にひと泡吹かせようと目論んだが、戦い利あらず6組の軍門に下った。悲運を嘆いてばかりいられぬ連合軍は、しかるべきコーチを招聘し、再度6組に戦いを挑む魂胆らしい。しかも、彼等が果たしてどこまでまとまることが可能だろうか。寄せ集めチームの悲しき、すでにユニフォームのデザインを決める段階で赤だ、いや青だ、緑を基調にすべきだと、分裂が始まっており、半年やそこらでとてもまとまりがつくとは思えない。むしろ今回敵前逃亡した1組が単独チームを編成し捲土重来を期する方が6組を倒す等と不遜なことはいえないまでも多少善戦することができるとは思えない。



左翼に犠牲フライを上げた横山



死球で出た吉井